

## 那須岳

**日時** : 2006年9月23～24日

**参加者** : 森崎充子、志村健一、田中聖己、山口俊

**交通手段** : 電車（往復共に各駅停車）、バス

**行程** : 23日昼、上野集合→（大宮合流）→宇都宮乗り換えで那須塩原へ→無料送迎バスで那須マウントホテルへ（温泉有）

24日朝、バス停→ロープウェイ→9:30 出発→(10:00)茶臼岳(10:10)→(10:40)峰の茶屋(10:50)→(11:25)朝日岳(11:35)→(12:40)三本槍岳にて昼食(13:30)→(14:25)朝日岳の肩(14:35)→(15:00)峰の茶屋(15:10)→(15:45)バス停山行終了→那須湯本へ→黒磯で夕食→家路へ

**注意点** : ロープウェイの始発は 8:30。のんびりしていると下山が夕方近くになる場合も有り得る。（我々は 8:07 発のバスを逃し 9:02 発に変更したことで 40 分計画が遅れた）それから、峰の茶屋から朝日岳に向かうルートは足場が悪いので悪天候時には十分ご注意を。（特に朝日岳→峰の茶屋の下り）

**所感** : 久しぶりの登山でしたが、快晴で大満足の山行となりました。前日までの予報では曇りだったのですが、当日は朝から雲一つなく素晴らしい景色に恵まれました。食事や温泉も満喫し、有意義な週末となりました。  
那須岳は初めてだったのですが、非常に変化に富んだ山容で面白かったです。なだらかなガレ場、急斜面の岩場、眺めの良い稜線、紅葉の綺麗な湿地帯等。所々にガスが噴出していて活火山を思い起こさせる場面も。  
最後に企画者 Y 様、企画協力者 T 様、晴れパワー全開の M 様、（+地図を買い忘れた S）本当に有り難うございました。また、どこかに登りましょう。

ロープウェイでは、真中に押し込まれて眺望は得られず。見事な快晴で、茶臼岳を目指してガレ場を登る。軽装備なのでサクサクと進む。振り返ると那須の町並みを一望出来る。余りの天気の良いさに皆笑顔であった。



30分で茶臼岳に到着。遠くの峰々には雲がかかっているが、我々の周囲には雲一つない。学生時代から悪天候に泣かされてきた面々には俄かには信じられない光景であった。本日の登山予定の朝日岳、三本槍岳を眺めて気合を入れる。

峰の茶屋（廃墟）で休憩し、朝日岳に向かう。久しぶりの登山で岩場の歩き方の感覚が鈍っていることを実感する。行きよりも帰りのほうが緊張した。T氏が実は高所恐怖症であることが判明。「絶対に下は見ないよ」とのこと。



峰の茶屋から35分で朝日岳に到着。周りには雲が見え始めたが、それでも大満足の展望。Mさん曰く、「自分が登ると大体晴れている。」他の面々はその言葉を非常に羨ましがっていた。三本槍岳方面は紅葉が始まっている模様で、期待感が高まる。

あと2、3週間すれば紅葉も見頃であろうか。それでも十分見応えのある景色であった。自然が織り成す絨毯はいつ見ても気持ちが良い。ちなみに前方の山は三本槍岳ではなく、本物は途切れているが左方向にある。（筆者は勘違いしていました。）





朝日岳から 65 分で三本槍岳に到着。日頃の運動不足が祟っているのか、結構疲れた。だんだんと風も強くなってきたが、天気は未だに良し。360 度のパノラマをここでも堪能し、各自持参の昼食をとり蜜柑や牛乳等でのどかな雰囲気を楽しむ。

朝日岳に戻る途中で、後方は茶臼岳。噴煙はガスなのか水蒸気なのか。ポカポカ陽気と風の心地良さを稜線歩きが楽しくて仕方がない。やはり山は晴れてこそだと再認識する。今までの雨男っぷりは何だったのだろうか (涙)。



帰りは茶臼岳を巻きロープウェイには乗らずにバス停に向かう。登ったときは 9 月 24 日でまだ夏気分であったが、山はもう秋付いていた。那須は一山越えると景色が変化する飽きの来ない良い山であった。次回は紅葉の時期に登りたい。